

【取組内容①】「同時共同編集を活用した「対話的な学び」の充実（スプレッドシート）」

6年生

授業の流れ

- 課題の提示
- はじめの考えを入力
- 友だちの考えをじっくり読む（10分）
- 友だちの考えをもとに、自分の考えを更新させる
- 参考にした友達を明記する

実践のポイント

- 友だちの考えをじっくり読む時間を確保する
- 答えが一律に決まっていたり、「調べましょう」といった課題は適さない
- 教師は説明や解説をするのではなく、友だちの考えをもとに自分の考えに取り入れたり、新たな考えを創造することを支援する

A	B	C
	米づくりが始まったことで、人々のくらしや世の中はどのように変わっていったのだろうか。	
名前	はじめの考え	最終の考え（誰のどのような考えを参考にしたか）
	米作りが始まってから、米作りに関わる「領土・環境・収穫量」を巡る争いが起きるようになった。 縄文時代の頃は、野山の動物や、山菜・木の実で、食べられない日が続くこともあったが、お米は、「よく実り、簡単に保存でき、栄養たっぷり」の優れた食べ物だったため、お米によって、争いが起こるようになってしまった。 争いに敗れた村は、勝利した村について行き、国のような大きなものが出来上がったと考えた。 争いに勝利したものが、多くの人を従える大王に繋がっていった。	米作りが始まってから、米作りに関わる「領土・環境・収穫量」を巡る争いが数多く起きるようになった。 縄文時代の頃は、野山の動物や、山菜・木の実で、我慢していた人々もお米という「よく実り、簡単に保存でき、栄養たっぷり」の優れた食べ物をなんとしても手に入れるため、争いが起こるようになってしまった。 争いに敗れた村は、勝利した村について行き、国のような大きなものが出来上がり、争いに勝利したものが、多くの人を従える大王などに繋がっていった。 強い力を持った者（権力者）が主に国を従える時代は、「米」によって作られ、現在の日本への第一歩となった。 参考：●●さん「現在の日本と照らし合わせた考え方」
	米作りが始まってから、「お米を作る環境・土地のひろさ」の争いが起こるようになった。 米作りが始まって、縄文時代よりも「食」が安定するし、お米は長期保存できるようになって人々が狩りに行かなくても食料を取れるようになったし、お米は「栄養」があるからより安心安全に食事をできるようになった。	米作りが始まってから、「お米を作る環境・土地のひろさ」の争いが起こるようになった。 その争いで勝利した村の指導者（権力者）は「村」から「国」に村をどんどん大きくして行って、その指導者（権力者）が後世に自分のすごさを伝えるために古墳が作られた。 米作りが始まって、縄文時代よりも「食」が安定するし、お米は長期保存できるようになって人々が狩りに行かなくても食料を取れるようになったし、お米は「栄養」があるからより安心安全に食事をできるようになった。 参考：●●さん（その争いで勝利した村の指導者（権力者）は「村」から「国」に村をどんどん大きくして行って、その指導者（権力者）が後世に自分のすごさを伝えるために古墳が作られた。）
	弥生時代から縄文時代にはなかった「米」を作り始めて、土地・環境などで争いが起こった。豪族の人が国をまとめて争いに勝てるようにしていた？米は狩りに行かなくても調達できて「安心・安全」そして「長期保存」が出来るようになった。	弥生時代から縄文時代にはなかった「米」を作り始めて、土地・環境などで争いが起こった。豪族の人が国をまとめていた？米は狩りに行かなくても調達できて「安心・安全」そして「長期保存」が出来るようになった。 米のメリットが人々の生活を充実させていた。 参考：●●さん（米が入ってきたことで生まれたメリットが、「日本の始まり」に繋がったのだと思う。） ●●さん（国を豪族などが土地をとられないようにまとめたため？）
	最初は、米なんてなくて、木の実や、肉などを保存して、食べていた時代だったけど、米作りが始まったことで、食も多くなり少しずつ豊かな食味になったのかなと思いました。 それにより腹持ちがいいとかでいい食だった他にも、栄養があるから身長が伸びたりでも活躍している。 この米の良さで更にその米を育てる土地、それにより戦争が始まっ	最初は、米なんてなくて、きの味や、肉などを保存して、食べていた時代だったけど、米作りが始まったことで、食も多くなり少しずつ豊かな食味になったのかなと思いました。 それにより腹持ちがいいとかで、いい食だった他にも、栄養があるから身長が伸びたりでも活躍している。 この米の良さで更にその米を育てる土地、それにより戦争があるけどこれが、日本の第一歩かなと思いました。

慣れてくると分量が多くなってきて、読むのに時間がかかる

⇒色を変えたりアンダーラインを引いたりして、重要な個所をピックアップ

内容を整理・分析することを通して、文字数制限を設けたりして、短く的確な文章を作成する指導

【取組内容①】「他者の考えをもとにした「構造化」の取り組み」

5年生

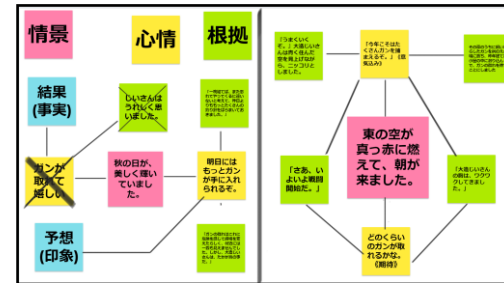
授業の流れ

1. 課題の提示
2. はじめの考えを入力
3. 友だちの考えをもとにクラスの考えを構造化
4. ジャムボードやスプレッドシートをもとに、話し合い活動（必要に応じて）
5. 構造化された考えをもとに自分の考えを更新

	A	B	C	D
1		<p>めあて 情景を表す表現に気を付けて読み、そこから読み取れる大造じいさんの心情について考えよう。 ※情景から読み取れる大造じいさんの心情と、その心情を想像した根拠を書く。根拠は教科書に書かれている内容を示すこと。 考える情景① P.224 7行目 「秋の日は、美しく輝いていました。」 考える情景② P.226 11行目 「あかつきの光が、小屋の中に入すがすがしく流れ込んできました。」</p>		
2		自分の考え	友だちの考えを見て	
3		<p>大造じいさんの心情 明日が楽しい(楽しみ)。 根拠 しかし、大造じいさんは、たかが鳥の事だ、一晩たてば、また忘れてやって来るにちがいないと考えて、昨日よりも、もっとたくさんのつりばりをばらまいておきました。</p>	<p>心情 わくわくしている。 根拠 たかが鳥のことだ、一晩経てば、またわすれてやって来るにちがいないと考えて、昨日よりも、もっとたくさんのつりばりをばらまいておきました。</p>	
4		<p>明日はたくさん捕まえられるなど思っている。 根拠 「昨日よりも、もっとたくさんのつりばりをばらまいておきました。」と書いてあったから。</p>	<p>ワクワクしている。 根拠 「昨日よりも、もっとたくさんのつりばりをばらまいておきました。」と書いてあったからワクワクしているんじゃないかと思いました。</p>	
5		<p>心情⇒わくわく(楽しい)気持ち。期待する気持ち。根拠⇒しかし、大造じいさんは、たかが鳥のことだ、一晩たてば、またわすれてやって来るにちがいないと考えて、昨日よりも、もっとたくさんのつりばりをばらまいておきました。</p>	<p>心情⇒ワクワク・期待する気持ち。根拠⇒しかし、大造じいさんは、たかが鳥のことだ、一晩たてば、またわすれてやって来るにちがいないと考えて、昨日よりも、もっとたくさんのつりばりをばらまいておきました。理由は、期待してなければ昨日よりもっとたくさんのつりばりをばらまくことはないと思ったから。</p>	
6		<p>大造じいさんの心情 明日が楽しみ。 根拠 しかし、大造じいさんは、たかが鳥の事だ、一晩たてば、また忘れてやって来るにちがいないと考えて、昨日よりも、もっとたくさんのつりばりをばらまいておきました。</p>	<p>心情：待ち遠しくてワクワクしている気持ち。 根拠：「たかが鳥の事だ、一晩たてば、また忘れてやって来るにちがいない」と考えてもっとたくさんの釣針をばらまいて置きました。と書かれていて、またガンが取れると思っているから。</p>	
		感情：ワクワクするような気持ち	友だちの意見：赤	

友だちの考えをもとに
クラスの考えを構造化

自分の考えに反映



リーディングDXスクール事業【実践事例】

喬木第一小学校

【取組内容②③】「端末の持ち帰りによる授業と家庭学習のシームレスな接続」

6年生

自 [] さんが新しい課題を投稿しました: 社会「世界に歩み出した日本」

投稿日: 2023/12/19 (最終編集: 1月9日)

単元の学習問題

不平等条約の改正を目指したり日本の世界での地位を上げていったりするなかでどのような努力をしてどのように変わっていったのだろうか。

0 提出済み
26 割り当て済み

単元の学習計画を事前に提示

<学習計画>

- ① 産業の発展
- ② 日本を世界の国の関係
- ③ 日本の国際的地位の向上
- ④ 発展による人々の生活や社会の変化

<第1時> https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005120220_00000
00:00~05:33

日本は欧米のような近代的な国づくりをするためにどのように産業を発展させ、その結果どのような変化があったのだろうか。
教P118,119 資P104 ドキリ

<第2時>

中国とロシアとの戦争によって日本と世界の国々との関係はどのように変わっていったのだろうか。
教P120,121 資P102,103

<第3時> https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005120220_00000
05:34~10:00

世界のなかでの日本の国際的地位はどのように変わっていったのだろうか。
教P122,123 資P102,103

本時に入る事前学習として、HNK for Schoolの動画や教科書・資料集から、課題に対する情報の収集・整理までを家庭で行ってくる

家庭学習の範囲

日本は欧米のような近代的な国づくりをするためにどのように産業を発展させ、その結果どのような変化があったのだろうか。

よりよい修正した考え (参考にした数とその記述の部分に分かるように)

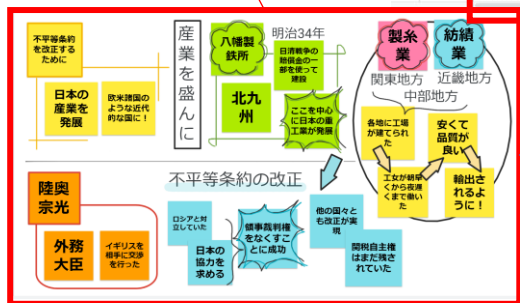
日本は欧米のような近代的な国づくりをするために製糸業や紡績業を盛んにし、各地方に工場をつくり、各地方で盛んな工業になった。そして、日本はアジアで最も盛んな工業国になった。また、日本は欧米列強国に追いつき経済的地位が向上した。また、日本はイギリスと交渉し、不平等条約の一部を改正して領事裁判権をなくすことに成功した。他の国々とも条約が改正された。

「不平等条約の改正させるには」と考え、製糸業と紡績業を盛んにし、作られた糸は輸出され、アジアで最も盛んな工業になる。日本の工業を発展させたことで、領事裁判権をなくすことができた。海外との差を少しでも、縮めることができ、海外との差を少しでも、縮めることができた。先生の、海外との平等に近づいたというところを参考にした。

不平等条約を改正するには日本は産業を発展させる必要がある。そこで製糸業や紡績業などの工業を各地方で作った。そして、日本はアジアで最も盛んな工業国になる。日本の産業が大きく発達した。日本が発展していくが、日本はイギリスと交渉を行い、条約の一部の改正に成功するといふ大きな変化があった。

友だちの考えをみたり友だちとの話し合いを通してジャムボードに情報を付け加えたり、再整理する

授業を通して自分の考えを更新



【取組内容④】Googleチャットによる職員連絡の効率化

Point① 「ツールを一つに絞ってスリム化」

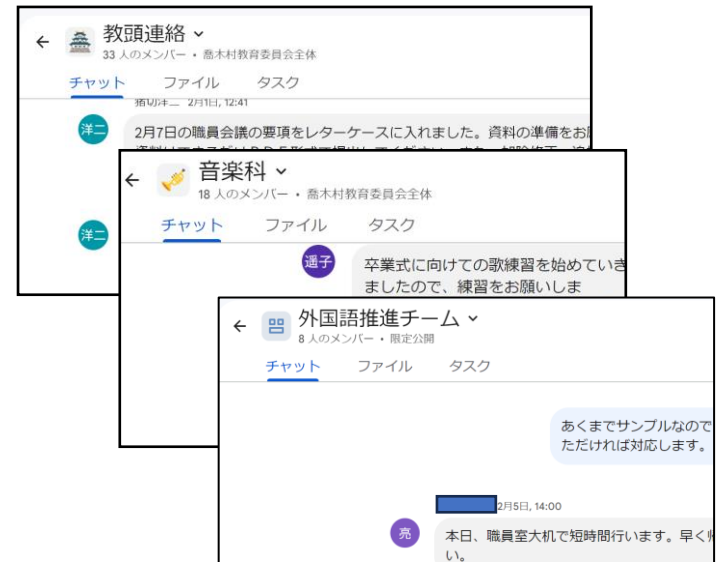
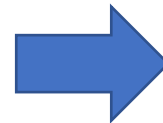
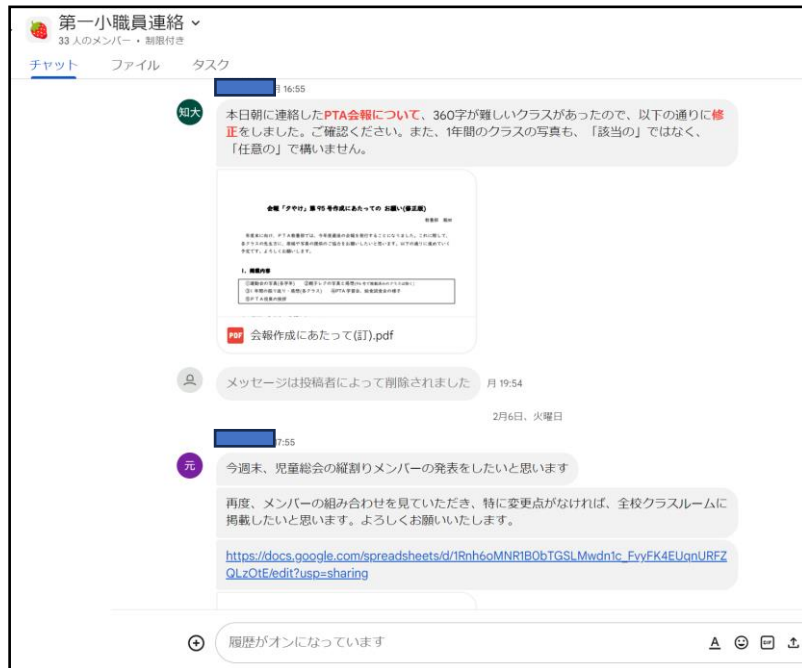
黒板の掲示版・校務支援システム・Googleクラスルームなど連絡媒体が複数に分散してしまっており、複雑化していた

⇒Googleチャットに一本化。チャットをみれば職員連絡が完結するように調整した。

Point② 「連絡分類ごとにスペースを作成」

最初は一つのスペースですべての連絡を行っていたが、古い投稿が流れてしまい大事な連絡が目につれない

⇒連絡内容ごとにスペースを作成し、投稿が分散するように工夫。チェック漏れがなくなった。



今後、必要なスペースをさらに検討

【取組内容④】「GoogleマップによるPTA危険箇所マップの作製」

Point① 「外部からの編集を許可しPTA役員がスマホから直接入力」

これまで役員ごと紙に記入し本部役員が集約したものを、学校がチェックした後、役場に提出していた。
⇒Googleマップに役員が直接入力することで集約の作業を省略。学校のチェックや役場への提出も事前にURLを共有しておくだけで済み、作業が簡略された。

喬木村PTA危険箇所マップ

表示回数 949 回
最終編集: 1月30日

レイヤを追加 共有 プレビュー

- R5 くらま
- R5 トンネル出入口付近
- R5旧電東タクシー前
- R5伊久間神社参道
- R5伊久間バイパス
- R5県道18号
- R5 西宮手前のフェンス
- R5 110階段の手すり
- R5 110階段下の階段
- R5 郭 辻
- R5 456号交差点
- R5 南農事集会所入り口付近
- R5 唐沢通学路 横断歩道
- R5 里原信号
- R5唐沢坂
- R5里原信号付近のカーブ
- R5唐沢坂砂利小道

基本地図

R5 110階段の手すり



所々めくれれていて触ると痛いため、手すりを持たず下る時に木の部分で滑って転けてしまう

35.51748, 137.88439

- マップに直接ピン打ち
- 内容メモ、写真添付

【今後】

- 修繕等、役場で対応した箇所について色の変更等で記録を残す
- マップデータを年度を超えて引き継ぐことで、最初から調査・入力しなおすなど手間を軽減
- 未対応/対応済みの箇所を正確に引き継ぐ